

令和8年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課
担当名：総務・計画・団体担当
内線：3296

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S147	県民の理解を深める手話普及啓発事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者福祉啓発推進費		
事業期間	令和5年度～	根拠法	埼玉県手話言語条例第7条	針路分野施策	070703	誰もが活躍し共に生きる社会の実現 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール	10	SDGsターゲット	10-2, 10-3

1 事業概要

手話を知っている人は多いが、手話ができる人は少ないため、手話への理解促進を図り、手話ができる人を増やすことが必要。そのため、市町村による地域の手話普及の取組を促進するとともに、広域行政を担う県も県民全体や事業者に対する手話普及の取組を推進する。

ア 手話アドバイザー派遣事業 542千円
イ 手話あいさつ100%運動 3,438千円

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況 なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円

5 事業説明

(1) 事業内容

- ア 手話アドバイザー派遣事業 542千円
聴覚障害者団体と連携し、これから手話普及の取組を始める市町村に手話アドバイザーを派遣する。市町村では、地域の聴覚障害者団体とも連携し、手話言語条例の制定とともに、地域における手話講習会や手話イベントの開催等の事業を実施する。
- イ 手話あいさつ100%運動 3,438千円
県が聴覚障害者団体、市町村、学校等と連携し、広報、各種イベント、授業等で「手話あいさつ」を広く県民に周知し、「おはよう」「こんちには」など簡単な手話ができるようにすることで、県民の手話への関心を高め、より一層の手話普及を促進する。

(2) 事業計画

- ア 手話アドバイザー派遣事業
 - (ア) 市町村への手話アドバイザーの派遣
- イ 手話あいさつ100%運動
 - (ア) 手話普及イベントの実施
 - (イ) 手話交流会・手話体験会の開催

(3) 事業効果

- 障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」の実現に寄与する。
- 手話の普及と手話を使用しやすい環境の整備の促進に寄与する。
- 【活動指標(アウトプット)】手話アドバイザー派遣、手話普及の広報実施、手話イベントの開催
- 【成果指標(アウトカム)】手話に関心がある県民の割合
 - 手話で基本的なあいさつができる県民の割合
 - 手話が普及していると感じる県民の割合

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	3,980						3,980	173
前年額	3,807						3,807	

事業内訳書

事業名	県民の理解を深める手話普及啓発事業		
単位事業名	手話アドバイザー派遣事業	予算額	542千円

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	542	0	
合計	542	0	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	40	0	委託先、派遣先との打合せ 2回×10回分
委託料	502	0	手話アドバイザー派遣業務委託
合計	542	0	

単位事業名	手話あいさつ100%運動		
	予算額	3,438千円	

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,438	173	
合計	3,438	173	

単位事業名	手話あいさつ100%運動	予算額	3,438千円
-------	--------------	-----	---------

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	268	0	交流会謝金 1回分、体験会謝金 1回分
旅費	40	20	委託先、関係団体との打合せ 5回分
需用費	70	3	消耗品、チラシ印刷代
委託料	3,000	150	手話普及イベント業務委託
使用料及び賃借料	60	0	手話交流会、手話体験会会場使用料 2回分
合計	3,438	173	